

インストールガイド

AXIS T8123-E アウトドアミッドスパン **30 W** (1-ポート)

AXIS T8124-E アウトドアミッドスパン **60 W** (1-ポート)

日本語

法律上の注意事項

ビデオ、音声監視は法律によって禁止されている場合がありますが、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は、以下に関する適用規格を満たすように設計、試験されています。

- ・指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の無線周波放射
- ・指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の電気、電磁現象に対する耐性

米国 - 本装置は、シールドネットワークケーブル (STP) を使用した試験により、FCC 基準パート 15 に基づき、クラス B デジタルデバイスの制限への準拠の審査を受け、認証済みです。この制限は、住居設備における有害な干渉からの適切な保護を目的として規定されています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また、放射する可能性があるため、指示にしたがって設置、使用しない場合、無線通信に干渉をおよぼすおそれがあります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置が原因となってラジオまたはテレビの受信に干渉が発生し、本装置の電源の入/切によって本装置が原因であると確認できた場合は、以下の1つ以上の方法で干渉を是正してください。

- ・受信アンテナの向きまたは位置を変更する。
- ・本装置と受信機の距離を離す。
- ・本装置を受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに接続する。
- ・販売代理店または、経験あるラジオ、テレビ技術者に相談する。

カナダ - 本装置は、カナダの ICES-003 に準拠するクラス B デジタル装置です。

欧州 - **CE** 本デジタル装置は EN 55022 のクラス B 制限に準じる RF 放射に関する要件を充足します。

オーストラリア - 本デジタル装置は AS/NZS CISPR 22 のクラス B 制限に準拠した無線周波放射の要件を満たしています。

日本 - この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

韓国 - 이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

安全性

本製品は IEC/EN/UL 60950-1 および IEC/EN/UL 60950-22、情報技術装置の安全性に準拠します。

製品の改修

本製品は、本書記載の手順に厳密に従ってインストールし、使用する必要があります。本製品には、ユーザーが修理できる部品は含まれていません。本製品を権限なく変更または改修すると、適用されるすべての規制上の認証や認可が無効になります。

法的責任

本書は細心の注意をもって準備されています。誤りや欠落を見つけた場合には、お近くの Axis オフィスまでお知らせください。Axis Communications AB は、いかなる技術上または印刷上の誤りについても一切責任を負わず、本製品および文書に予告なく変更を加える権利を留保します。Axis Communications AB は、市場性および特定目的との適合性に関する黙示的保証を含む(ただし、それらに限定されない)、本書の記載内容に関して、いかなる種類の保証もいたしません。Axis Communications AB は、本書の記載内容にしたがった機器の設置、性能、使用に関する間接的損害または結果的損害に責任も義務も負わないものとします。本製品は、その本来の目的でのみ使用してください。

RoHS

本製品は欧州 RoHS 指令 2002/95/EC、中国 RoHS 規則 ACPEIP に準拠しています。



WEEE 指令

欧州連合 (EU) は廃電気電子機器指令 (WEEE 指令) 2002/96/EC を制定しました。この指令は EU 加盟国に適用されます。



右に示す本製品にある WEEE マークまたは添付文書には、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならない旨が記載されています。人の健康や環境に危害を与える可能性を避けるため、本製品は必ず、認可された環境に安全なリサイクル処理に則って廃棄してください。本製品を適切に廃棄する方法の詳細については、製品のサプライヤー、または当該地域の廃棄物担当当局にお問い合わせください。商用利用者は本製品の適切な廃棄方法について製品のサプライヤーにお問い合わせください。本製品を他の商業廃棄物と混在させないでください。

サポート

技術サポートが必要になった場合は、Axis の販売代理店までお問い合わせください。ご質問にすぐにお答えできない場合は、お客様をお待たせしないように、お問い合わせ内容が代理店から適切な窓口へ送られます。お客様がインターネットに接続している場合は、以下が可能です。

- ・ユーザードキュメントとソフトウェアアップデートのダウンロード
- ・FAQ データベースで問題解決法を検索。製品、カテゴリ、フレーズで検索。
- ・お客様専用のサポートページにログインし、Axis のサポートスタッフへ問題を報告
- ・Axis のサポートスタッフとチャットで話す(一部の国のみ)
- ・Axis サポート : www.axis.com/techsup/

安全の確保

注意：

- ・ 本製品は、乾燥した通気の良い環境に保管してください。
- ・ 本製品に振動、衝撃または強い圧力を加えないでください。本製品を不安定なブラケット、不安定な場所、振動する場所や壁に設置しないでください。製品が損傷するおそれがあります。
- ・ 本製品を取り付ける際には、適切な工具のみを使用してください。不適切な工具を使用すると、製品に過剰な力がかかり、損傷することがあります。
- ・ 化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーは使用しないでください。クリーニングを行う場合には、湿った布を使用してください。
- ・ 製品の技術仕様に準拠したアクセサリのみを使用してください。Axis またはサードパーティから入手することができます。

- ・ AXIS T8123-E/T8124-E の設置および撤去は、**有資格者のみ**が行うことができます。
- ・ 本装置はアクセスが制限される場所への設置のみを想定しています。
- ・ 本製品は、恒久的に建造物の一部分となることを想定していません。
- ・ AXIS T8123-E/T8124-E を電源に接続する前に、このインストールガイドをお読みください。
- ・ AXIS T8123-E/T8124-E を電源に接続する際には、基本的な電気安全対策を講じてください。
- ・ 電源コードを建物の表面に取り付けないでください。また、建造物内の壁、天井、床および隙間に電源コードを通さないでください。
- ・ 電源コードの物理的損傷を避けるため、配線を含む対策を講じてください。
- ・ 電圧の不一致は、装置の損傷および火災の原因となることがあります。ラベルに表示されている電圧とコンセントの電圧が異なる場合は、AXIS T8123-E/T8124-E をコンセントに接続しないでください。

- ・ **米国バージョンのみ**。すべての配線および接続は NFPA 70 (NEC) に適合する必要があります。
- ・ **米国バージョンのみ**。本製品は、分岐回路に接続する NEMA 5-15P プラグに対応します。その他の取り付け方法が必要な場合は、分岐回路への適切な接続に関する現地の条例および規定を参照してください。
- ・ EN60529 レベル IP66 および NEMA 250 レベル 4x に適合させるため、AXIS T8123-E/T8124-E の AC 電源プラグは、シールドされたボックスに接続してください。
- ・ AXIS T8123-E/T8124-E の AC 電力線は、装置の近くで簡単に手の届く場所にあるコンセントに接続してください。
- ・ **インターナショナルバージョンのみ**。AXIS T8123-E/T8124-E の AC 電力線は、外部二極サーキットブレーカーを介して建物設備の配線に接続する必要があります。

- ・ AXIS T8123-E/T8124-E の "DATA IN"、"DATA PWR OUT" ポートはシールドされた RJ45 データソケットです。これらを従来の音声電話サービス用 (POTS) ソケットとして使用することはできません。ソケットには RJ45 データコネクタのみ接続可能です。
- ・ ケーブルの長さはイーサネットネットワークソースから 100m を超えないようにしてください。AXIS T8123-E/T8124-E は中継装置ではなく、イーサネットデータ信号を増幅しません。
- ・ 必要に応じてスプリッターを使用してください。スプリッターはミッドスパンではなく端末に近い側に接続してください。
- ・ 本製品は、GR-1089-CORE 耐要件に適合するように設計されています。

重要：

- ・ 本製品は、お使いになる国、地域の法律、規制にしたがって使用してください。
- ・ 製品を自分で修理しないでください。修理に関しては、Axis または Axis の販売代理店にお問い合わせください。
- ・ AXIS T8123-E/T8124-E の設置および撤去は、有資格者のみ行うことができます。

AXIS T8123-E/T8124-E インストールガイド

パッケージの内容

AXIS T8123-E/T8124-E	
電源ケーブル付きミッドスパン (各国ごとの電源ケーブルが付属)	インターナショナルバージョン 米国バージョン
取り付けキット	RJ45 オス型プラグ防水コネクタカー バー×2 アース線
印刷物	インストールガイド(本書)

注: イーサネットケーブル、RJ45 (オス型) コネクタ、取り付けネジは付属していません。

AC 電源ケーブルのカラーコード	ライン	ニュートラル	保護アース
米国バージョン - NFPA 70 (NEC)	黒	白	緑
インターナショナルバージョン - IEC 60445	茶	青	緑 / 黄

機能と特長

AXIS T8123-E/T8124-E 1-ポート 802.3at ギガビット PoE アウトドアミッドスパンは、データを伝送するイーサネットケーブルを通じて電力を供給します。IEEE802.3at、IEEE802.3af 標準に準拠しています。これらの電力レベルにより、テレビ電話、802.11n アクセスポイント、WiMAX トランスミッター、PTZ カメラなどさまざまなイーサネットベースのアプリケーションの利用が可能になります。AXIS T8123-E/T8124-E の DATA PWR OUT ポートは、標準 CAT5e ケーブルを通じてギガビットイーサネットデータと電力 (Alt A: ピン 1,2(-)/3,6(+)) および Alt B: ピン 4,5(+)/7,8(-)) を供給するように設計されています。

ハードウェアの設置

AXIS T8123-E/T8124-E は背面の穴を利用して壁などに取り付けることができます。

AXIS T8123-E/T8124-E を所定の位置に取り付ける前に以下の点に注意してください。

- ・ AXIS T8123-E/T8124-E を覆ったり、空気の流れが他の物体によって阻害されないようにします。AXIS T8123-E/T8124-E は極端な高温や高湿度、振動やホコリを避けてください。
- ・ イーサネットネットワークソースから Axis ビデオ製品までのケーブルの長さが 100m を超えないようにしてください。AXIS T8123-E/T8124-E は中継装置ではなく、イーサネットデータ信号を増幅しません。
- ・ AXIS T8123-E/T8124-E に オン/オフ スイッチはありません。AC 電源コンセントに接続するだけで使用できます。近くで簡単に接続できる場所にあるコンセントに接続してください。インターナショナルバージョンの AXIS T8123-E/T8124-E の AC 電力線は、外部二極サーキットブレーカーを介して建物設備の配線に接続する必要があります。

取り付け方法

1. 3本のネジを使って AXIS T8123-E/T8124-E を固定します。図 1 参照 (ネジ穴は 1、2、3)。
2. アース線の一方の端を EARTH GROUND (図 1b 参照) に接続し、もう一方の端を適切なグラウンドに接続します。AXIS T8123-E/T8124-E を電源に接続する前にこの手順を完了してください！ 付属のグラウンド線またはそれ以上の太さの線を使用します。

注：AXIS T8123-E/T8124-E を取り付け際には、設置面 (木材、コンクリートなど) に合った適切なネジとプラグを使用してください。本製品の四隅のネジは取り外さないでください。製品の保証の対象外となります。

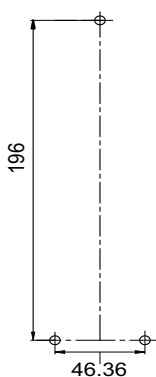


図 1

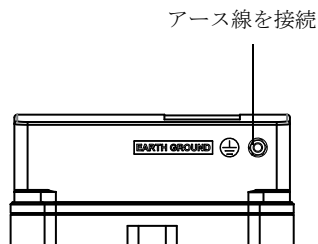
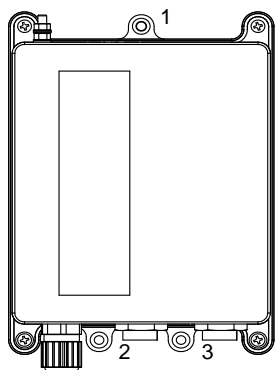


図 1b

1. イーサネットケーブルにオス型プラグ防水コネクターカバー (A、B、C) を装着します。図 3 参照。
2. イーサネットケーブルを DATA IN に接続します。図 2 参照。
3. DATA IN に接続した RJ45 オス型プラグにプラグ (A) を装着します。図 3 参照。
4. プラグとネジにハウジング (B) を装着します (手の力のみで締めてください)。図 3 参照。
5. DATA PWR OUT について 2 ~ 6 の手順を繰り返します。
6. コネクターとネジにカバー (C) を装着します (手の力のみで締めてください)。図 3 参照。
7. 「安全の確保」の記載に従って AXIS T8123-E/T8124-E を AC 電力線 (100 ~ 240 VAC) に接続します。
インターナショナルバージョンのみ、図 4 を参照。

注 : AXIS T8123-E/T8124-E の出力ポートと負荷デバイスをクロスオーバーケーブルを使用して接続しないでください。

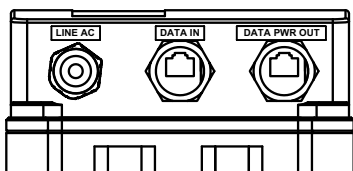


図 2

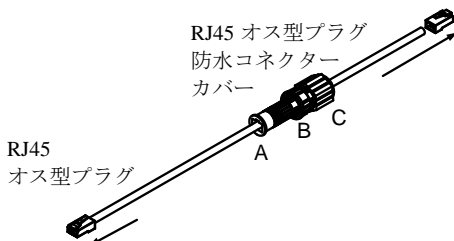


図 3

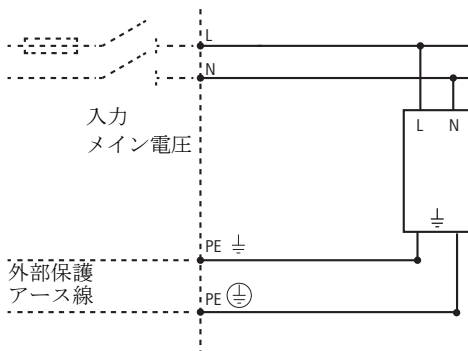


図 4

仕様

環境仕様

モード	温度	相対湿度	IP クラス
動作時 T8123-E	-40 ~ 50 °C /30W -40 ~ 65 °C /15.4W	10 ~ 100% (結露)	IP66
動作時 T8124-E	-40 ~ 50 °C /60W -40 ~ 65 °C /30W		
保管時	-40 ~ 85 °C	最大 95% (結露しないこと)	N/A

電気仕様

入力電圧	100 ~ 240 VAC (50/60 Hz)
T8123-E の入力電流	1A (最大)
T8124-E の入力電流	2A (最大)
可能な出力 (最大) T8123-E	30W
可能な出力 (最大) T8124-E	60W
通常出力電圧	55 VDC

インターフェース

入力 (DATA IN): イーサネット 10/100/1000Base-T	RJ45 メス型ソケット
出力 (DATA PWR OUT): イーサネット 10/100/1000Base-T + 55VDC	RJ45 メス型ソケット、1-2 と 3-6、4-5 と 7-8 のワイヤーペアで DC 電圧
電源ケーブル (LINE AC)	3m 電源ケーブル (取り付け済)

AC 電源ケーブルのカラーコード	ライン	ニュートラル	保護アース
米国バージョン - NFPA 70 (NEC)	黒	白	緑
国際バージョン - IEC 60445	茶	青	緑 / 黄

トラブルシューティング

現象	修正手順
AXIS T8123-E/ T8124-E の電源 が入らない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信頼できる電源コードが使用されているか確認します。 2. コンセントの電圧が 100 ~ 240VAC であるかを確認します。 3. 電源を切断し、その後再投入して、電源投入シーケンス中のインジケータの状態を確認します。
電源を投入してもポートインジケータが点灯せず、デバイスが動作しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミッドスパンがデバイスを検出しているかを確認します。 2. デバイスが PoE 動作に対応しているかを確認します。 3. 4つのワイヤーペアを有する標準カテゴリ 5/5e/6 のストレートケーブルを使用しているかを確認します。 4. パワースプリッターを使用している場合は、高品質のスプリッターに交換します。 5. 入力イーサネットケーブルが DATA IN ポートに接続されていることを確認します。 6. デバイスが DATA PWR OUT ポートに接続されていることを確認します。 7. デバイスを別のミッドスパンに接続し、動作を確認します。動作する場合は、ポートまたは RJ45 接続に障害がある可能性があります。 8. ツイストペアケーブルまたは RJ45 ケーブルに短絡 (ショート) がないことを確認します。
端末装置は動作しているが、データリンクが確立されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスのポートインジケータが点灯し続けていることを確認します。 2. パワースプリッターを使用している場合は、高品質のスプリッターに交換します。 3. 4つのワイヤーペアを有する標準の UTP/FTP カテゴリ 5 のストレートケーブルが使用されている (クロスオーバーケーブルではない) ことを確認します。 4. イーサネットソースから負荷 / リモート端末までのイーサネットケーブルの長さが 100m を超えていないことを確認します。 5. デバイスを別のミッドスパンに接続し、動作を確認します。動作する場合は、ポートまたは RJ45 接続に障害がある可能性があります。

保証

Axis の製品保証と関連情報については、www.axis.com/warranty を参照してください。

インストールガイド

AXIS T8123-E/T8124-E

© Axis Communications AB, 2012

Ver.1.2

発行：2012年11月

文書番号：49820